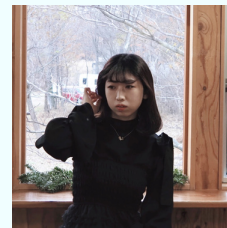


2025年度 神戸財団賞受賞者コメント

愛知県立芸術大学

美術研究科 美術専攻 日本画領域 加藤青雅

この度は神戸財団賞をいただき、誠にありがとうございます。
日頃よりご指導くださる先生方や、作品をご覧くださいる方々、そして支えてくださる皆様のおかげで、このような賞をいただくことができ、心より嬉しく思っております。
本作では、芸術の本質を祈りとして捉え、人に寄り添う祈りの具現化として制作を行いました。私が作品を通して表現する祈りが、いつか誰かにとって小さな救いとなれば幸いです。
今回いただいた賞を励みに、これからも自分の歩む道を大切にしながら制作に励んでまいります。
ありがとうございました。



 Instagram

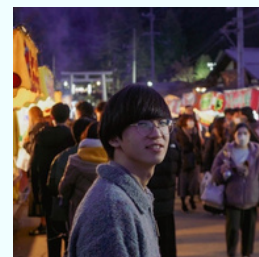


美術研究科 美術専攻 油画・版画領域 東本伊代

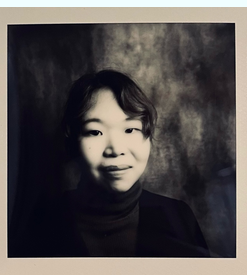
この度、卒業制作作品が神戸財団賞という貴重な賞を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。
本作品は私自身にとって最大規模のもので、制作途中何度も悩む瞬間がありましたが周りの方たちの助けを借りながらここまで作り上げることができました。
この受賞を励みに、これからも表現と向き合い続けます。ありがとうございました。

美術学部 美術科 彫刻専攻 古瀬禄大

この度は本作を評価していただき、誠にありがとうございます。人と金属の一体化というテーマに向かい自分自身が納得できる地点を目指し、迷いながらも手を止めずに制作を続けました。形を作る過程で迷いや揺らぎもありましたがそれらを含めて自分にしかできない表現に辿り着けたと感じています。その結果として生まれた作品を、このような形で評価していただいたことを大変嬉しく思います。今回の受賞を励みに、これからも自身の感覚と真摯に向き合いながら表現を深めていきたいと思えます。



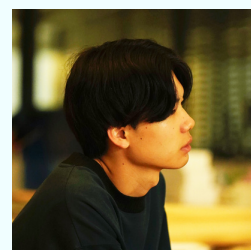
美術学部 美術科 芸術学専攻 榎原菜月



この度は神戸財団賞をいただき、大変嬉しく、光栄に存じます。
ゲイリー・ウィノグラッドは魅力的でありながらも、全体像を捉えることが難しい写真家です。そのため、論文執筆にあたっては、どのような側面から論じれば彼の人物像をより明らかにできるのかに苦心しました。しかし、彼の写真および写真観に真摯に向き合い、本論文を書き上げたことで、研究の第一歩を踏み出すことができたように思います。
ご指導をしてくださった先生方、支え合った同学年の仲間たち、たくさんの方々のおかげで論文を書き上げることができました。より良質な論文が書けるように、今後とも精進して参ります。この度は誠にありがとうございました。

美術学部 デザイン・工芸科 デザイン専攻 松浦 立弥

この度は神戸財団賞を賜り、誠に光栄に存じます。私は手作りによるものづくりを通して素材と向き合い、その特性からかたちを導き出すことを制作の軸としてきました。今回の受賞を大きな励みとし、今後も表現の可能性を広げながら、一層精進してまいります。心より御礼申し上げます。





美術研究科 美術専攻 陶磁領域 三林沙貴人

 [Instagram](#)

この度は神戸財団賞という栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。芽が出ずにいた私を根気強くご指導くださった先生方をはじめ、日々の制作をともにし支えてくれた学友の皆さまに、心より御礼申し上げます。

今回の受賞作品は、陶芸による表現に悩み抜いた末にたどり着き、自身に一つの方向性を示してくれた大切な作品です。その作品をご評価いただけたことは、私に勇気を与えてくれました。これからも土という素材と真摯に向き合い、より良い作品を生み出せるよう一層精進してまいります。

美術学部 デザイン・工芸科 メディア映像専攻 阪野晴賀

この度は、神戸財団賞という名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。大学で学んだことの集大成となる作品が、このような形で評価されたことを大変光栄に思います。制作を支えてくださった方々、そして実際に作品を体験して下さった皆様に心より感謝申し上げます。今後もこの受賞を励みに、より一層「新しい体験」の探求に精進してまいります。



音楽研究科 音楽専攻 作曲領域 杉野智彦

 [WEBサイト](#)

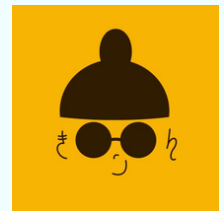
この度は神戸財団賞を賜り、誠にありがとうございます。ご指導くださった先生方、制作に関わってくださった皆様、そして日々支えてくれた友人に心より感謝申し上げます。

拙作《聴常現象》シリーズは、学部時代から向き合ってきた3歳から患う感音性難聴の経験を起点に、聴こえの差異を単なる僕の個人的事情に留めず、他者と「同じ音を聴いているはずなのに一致しない」という聴こえに関する疑問と「聴く」行為を見つめ直し、聴こえの不確かさを自身のオリジナリティとして作品の核として組み込んだものです。

この受賞を励みに、今後も一層精進してまいります。

音楽学部 音楽科 作曲専攻(音楽学コース) 樋口伎凜

この度は神戸財団賞をいただき誠にありがとうございます。論文の執筆にあたり、ご指導いただいた先生方をはじめ、支えてくださった多くの方々と妖怪たちにお礼申し上げます。私は、自分の考えを人に話したり、会話を重ねることでアイデアやヒントを得ることが大半です。音楽学コースのゼミは、先生や仲間と自由に意見が交わせる場であり、私にとって非常に充実した時間でした。まだ自分のやりたいことの1%もできていないという感覚なので、この賞を励みにより一層精進してまいります。



音楽学部 音楽科 声楽専攻 渡邊 練

この度は、このような栄誉ある神戸財団賞をいただき、心より光栄に存じます。選考に携わってくださった皆様、そして日頃より活動を支えてくださる関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。愛知県立芸術大学での四年間は、自分の身体を楽器とする声楽の難しさと楽しさに向き合う日々でした。演奏技術などの繊細な視点から、「音楽とは何か」という本質的な問いまで、多くのことを学ばせて頂きました。

この受賞を新たな糧とし、今後はより一層の責任感を持って、音楽を通じて感動を届けられるよう、精進していきたいと思っております。

音楽研究科 音楽専攻 鍵盤楽器領域 工藤まどか

この度は神戸財団賞という名誉ある賞を賜り、心より御礼申し上げます。学部から大学院までの6年間、ピアノと真摯に向き合い続けてまいりました。思うようにいかず悩む日々もありましたが、その1つ1つが私にとってかけがえのない経験となりました。支えてくださった先生方、ご家族、友人の皆さまに深く感謝申し上げます。この貴重な経験を糧に、今後も音楽の魅力を探求し、より一層精進してまいります。



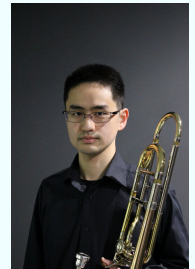
音楽研究科 音楽専攻 弦楽器領域 島津薫子



この度は大変名誉ある賞を賜り心より感謝申し上げます。外部から入学した私にとって、この2年間は非常に有意義な時間となりました。目の前の課題をこなすことや明確な問題点を改善することだけでなく、答えのない問いに対して試行錯誤したり、自分が何のために楽器を弾いているのかについて自問自答したりする作業は、ときに苦しいものでしたが、そのために必要な環境と時間を与えてくれたこの大学に心から感謝しております。たとえば10年後に今の自分を振り返ったときに心からその人生を肯定できるような日々が送れるよう、今後も一層精進してまいります。

音楽研究科 音楽専攻 管・打楽器領域 山家隆司

この度は名誉ある神戸財団賞を頂きましたこと、誠に光栄に存じます。また、ご指導いただいた先生方や支えてくださった方々、ともに切磋琢磨した仲間たちに深く感謝申し上げます。愛知県立芸術大学では学部から大学院まで6年間お世話になりました。大学にはいつも仲間たちがいて、互いの演奏を聴いたり一緒にアンサンブルをする日々でした。このような充実した環境や良き仲間たちとの出会いがあってこそ、私は成長できたと感じております。今後も大学で得た学びと皆様への感謝の気持ちを忘れずに、さらに精進を重ねてまいります。



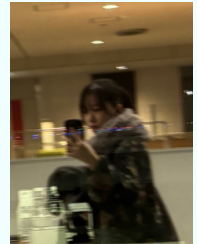


日本画学科 東浦心咲

この度は神戸財団賞をいただき誠に光栄です。
多くの方々の支えに心から感謝申し上げます。
今回の受賞を励みに、失敗を恐れず、今後も表現に向き合いたいと思います。
楽しさを忘れるなら、それはあなたの大切なものです。知らないものはあなたが大切にしていた場所です。
この世界はそのようなしなやかさで満ちていて、私はそれを掬い上げたいと思っています。

油絵学科 油絵専攻 鈴木柚乃

この度は神戸財団賞に選出していただき、誠にありがとうございます。
本作品は自分がどこに立ち、どこを見ているかを確認できるようにして制作していました。
そのまなざしがこのような形で評価されたことを、大変光栄に思います。
今後も問いを手放さず、絵画制作に励んでいきたいと思っています。



 [Instagram](#)



油絵学科 版画専攻 中島真咲

このたびは神戸財団賞を賜り、誠にありがとうございます。
幼少期から親しんできた液晶画面の像は、電源を切れば消えてしまいます。その寂しさから、「デジタルの像を物質へ引き寄せる」をテーマに制作しました。黒光沢紙とパール顔料によるシルクスクリンで、見る角度によって像が変化する表現を追求しています。
ご指導いただいた先生方、制作を支えてくださった家族に心より感謝申し上げます。この賞を励みに、今後もシルクスクリン表現の可能性を探求し、作品を通じて多くの方々に新たな視覚体験をお届けできるよう精進してまいります。

 [Instagram](#)

彫刻学科 丹羽悠葵

この度は神戸財団賞をいただき、誠にありがとうございます。
存在を主題に、かたちや在り方について考えながら制作してきました。
その時間を、このような形で受け取っていただけたことを嬉しく思います。
ご指導くださった先生方、支えてくれた友人に心より感謝しています。



 [Instagram](#)

視覚伝達デザイン学科 名越希



この度は、神戸財団賞という大変名誉ある賞をいただき、誠に光栄に存じます。
本作品は障害をもつ兄との関係性を見つめ直すべく、一年間を通して家族の過去・現在・未来に向き合い、多くの葛藤を重ねた末に形になりました。私の創作人生の一つの節目であると同時に、これまでの生き方をそのまま反映したような作品になったと感じています。
このような賞をいただけたことを大変うれしく思うとともに、身の引き締まる思いです。
今後は仕事としてモノ・コトづくりに携わっていくこととなりますが、何事にも真摯に向き合う姿勢を忘れず、一層精進してまいります。ありがとうございました。

工芸工業デザイン学科 縫谷春花

卒業制作という4年間の集大成でこのような賞を頂けてとても光栄です。この作品は、布の持つ立体性について考えました。支持体に依存するのではなく、布自体に立体性を持たせ一枚布に縫製などの加工は一切せずにシルクスクリーンの技法のみで形を作りました。今後は大学院に進み、この発泡バインダーを使用した立体的な布作りをより多角的に研究していきたいです。



 [Instagram](#)

空間演出デザイン学科 馬場 千枝鈴

自分にとって、確信を得るためには「言葉」という確かな形を持つものが必要だと、かつては考えていました。けれど、必ずしもそうとは言い切れないと気づきました。言葉になる前の、名づけえぬ感覚に近づくために、私はこの作品を作ります。耽美と狂気の世界の存在を示し、本作に着想を与えてくれた、江戸川乱歩作「赤い部屋」に感謝します。この度、このような賞を受賞出来たこと本当に光栄に思います。この作品を創り上げた経験と賞を頂けたことを糧とし、今後も表現の可能性を探求していきたいです。

 [Instagram](#)

建築学科 田村 渚歩

このたびの受賞に際し、深く感謝申し上げます。私にとってこの制作は、都市と自分の距離を確かめ直す時間でした。歩き、見て、考え、何度もやり直しながら辿り着いた形です。関わってくださった先生方・皆さまへの感謝を胸に、これからも誠実に学び続けていきます。

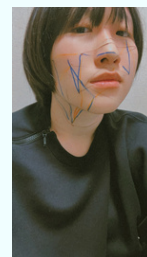



基礎デザイン学科 栗野 環

このたびは神戸財団賞をいただき、誠にありがとうございます。卒業制作では、自身の原体験や身近な風景を手がかりに、記憶や感情がどのように形として立ち上がるのかを探りながら制作を行いました。作品を評価していただけたことは、今後も制作を続けていくうえで大きな自信となりました。心より感謝申し上げるとともに、これからも表現と真摯に向き合っていきたいと思えます。

芸術文化学科 中嶋 汐彩

このたびは、このような栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思っております。未だ世間的に「美術は難しい、わからないものである」という漠然としたイメージがありますが、意外にも美術は日常に潜んでおり、そのことに鑑賞者自ら気づく仕組みを代替現実ゲームを活用して制作しました。「学び」とは机に向かって知識を暗記する勉強だけではなく、あなたが見たもの、聞いたこと、知っていること、選んだこと、体験したことも学びであり、それこそが「気づき」の種となっています。気づくことで視野が広がる感覚を本作品を通して体験し、鑑賞者の生涯学習に少しでも影響を与えることができれば本望です。



 [Instagram](#)



デザイン情報学科 岩本愛永

この度は神戸財団賞をいただき大変嬉しく思います。
卒業制作は高校までの12年間の仏教の学びと大学での4年間で習得した技術やご縁の集大成として、幼少期から大好きなぬいぐるみを取り入れつつ制作しました。今後も人や機会とのご縁を大切に、制作を通して人々が楽しくよりよく生きられる世界にできるよう精進してまいります。ありがとうございました。

 [Instagram](#)

クリエイティブイノベーション学科 鶴岡正也

このたびは、神戸財団賞を受賞することができ、とても嬉しいです。木偶(DEKU)を制作し続ける過程で多くの人々と出会い、話し、支えられてきたこと、そして自分自身が成長してきたことでこれまでの作品を作り上げることが出来ました。内向的で、言葉を上手く紡げない私でも作品を通して人々と繋がっていき、会話を生み出す。この木偶が、私にとって、人々との繋がりを生み出す、救いでした。これからも、このような活動を通して、言語化されない様々な感情、生命の声を伝えていけたら嬉しいです。



 [facebook](#)  [Instagram](#)



映像学科 石井このみ

このたびはこのような素晴らしい賞をいただき、心より嬉しく思います。日頃より支えてくださる方々、制作に関わってくださった皆さまに心より御礼申し上げます。今回の受賞を励みに、卒業後も物事と向き合いながら、作品制作を続けていけるよう努めてまいります。

 [Instagram](#)  [YouTube](#)

芸術地域デザイン学部 芸術表現コース 美術工芸・工芸分野 日本画専攻 元田乃恵

この度は、選出いただき大変うれしく思います。
あたたかな人々に囲まれ、この4年間はとても豊かな時間を過ごしました。そのような日々をよりどころとして浮かび上がった色やかたちが、この絵であると感じています。
明日も、その次の日も、制作とともに毎日続けます。

 [Instagram](#)

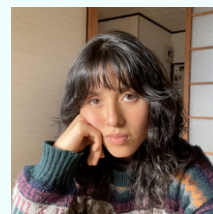


芸術地域デザイン学部 芸術表現コース 美術工芸・工芸分野 染色工芸専攻 渡辺結南

この度、本作をこのような賞に選出していただいたことを大変光栄に思います。
在学中に研究してきた表現技法を評価していただけたものと受け止めております。教授を始め、先輩方、同室の仲間に支えられ、納得のいく作品に仕上げることができました。まだ追求の途中段階にありますので、今後も更に技術を磨き、染色の新たな表現の追求を継続する所存です。

芸術地域デザイン学部 芸術表現コース 有田セラミック分野 ジョアナ・スリタ

この度は神戸財団賞をいただき誠に光栄に存じます。
作品の展示を終えた際、先生方や鑑賞者の皆様の反応を拝見し、大きな喜びと達成感を感じました。想像していた作品を形にするために、この1年間、努力と忍耐を重ね、さまざまな挑戦を乗り越えました。専門的な視点から見れば、まだ未熟な点もあるかもしれません。しかし、これまで積み重ねてきた努力、忍耐力、そして情熱に加え、先生方のご指導や支えてくださった皆様のおかげで、このような評価をいただけたことを大変嬉しく思っております。
この素晴らしい賞を励みに、今後も焼き物の制作や研究を続け、少しずつアーティスト・陶芸家としての歩みを深めて参ります。ありがとうございました。



 [Instagram](#)



芸術地域デザイン学部 地域デザインコース 地域コンテンツデザイン分野 映像デザイン 米原圭一

素敵な作品たちの中で、私の作品にスポットライトを当てて頂いた事を大変光栄に思います。かなりの時間と作業量、試行回数を重ねた作品なので、こうした形で評価を頂くことが出来て嬉しいです。また、制作を行うための環境や機材を整え、私を支えて頂いた全ての方々に感謝します。今回の受賞を機に、より一層自身の表現と向き合い、制作を続けて行きます。具体的な展望としては、今作では描ききれなかった自己表現的な部分を作品にしていくと同時に、技術力を高め、MV等の制作に携われるよう、精進します。

 [Instagram](#)

芸術地域デザイン学部 地域デザインコース キュレーション分野 美術史 廣田翔子

この度は神戸財団賞という栄えある賞を賜り、誠に光栄に存じます。本研究では、近代日本におけるルノワール受容を、展覧会史と美術雑誌・新聞における言説の両面から横断的に検討し、近代日本における美術受容の構造の一端を明らかにすることを目指しました。このような研究はこれまでなされてきませんでした。ルノワールという画家の受容過程を通して、日本における西洋画受容のあり方を考える一つの手がかりとなるのではないかと感じております。
研究の途中、挫けそうになることもありましたが、クラスメートの支えと、最後まで丁寧にご指導くださった先生のおかげで、本論文を完成させることができました。
この受賞を励みに、今後も研究に真摯に取り組んで参ります。ありがとうございました。



地域デザイン研究科 地域デザイン専攻 芸術デザインコース 川浪綾乃

私はこれまで、美術館という場がより開かれた、豊かな対話を生む場所となることを願い、研究に邁進してまいりました。今回の受賞は、これまでの歩みを評価していただけただけでなく、今後の活動に対する大きな励みしであると感じております。
春からは博物館の教育普及職として、新たな一歩を踏み出します。現場においても、ワークショップなどの実践を通じて自身の問題意識を深め、理論と実践を往還しながら、より良いミュージアムの在り方を模索し続ける所存です。
本賞の重みを糧に、さらなる研鑽を積んでまいります。誠にありがとうございました。